

令和5年度
広域産業振興局 事業計画

関西広域連合 広域産業振興局

関西広域産業ビジョン(将来像と関西経済活性化戦略)

関西が目指す将来像

世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西

国内外から「人・モノ・投資・情報」が集まり、
イノベーションが生まれる地域

多様な人々が活躍・共生できる関西

多くの人々を引きつける、
豊かで持続可能な生活圏を形成する魅力ある地域

【目標】 2040年度の関西（広域経済圏）の

▶ 経済・産業の国内シェア25%

▶ GRP約1.8倍（2010年度比）の約180兆円

関西経済活性化戦略

【将来像と目標実現のために関西が当面（今後5年を見据え）、重点を置いて取り組んでいく3つの戦略】

【戦略1】関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化

【戦略2】高付加価値化による中堅・中小企業等の成長支援

イノベーションが
生まれる関西

【戦略3】個性豊かな地域の魅力を活かした地域経済の活性化

関西を支える人材の確保・育成

○関西スタートアップ・エコシステムの推進

- ・関西スタートアップのポテンシャルの発信強化

○ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出に向けて

- ・ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化
- ・欧州ライフサイエンス企業とのパートナーングカンファレンスの実施【協調】
- ・医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施
- ・PMDA関西支部の活用促進【協調】

○グリーン分野におけるイノベーション創出に向けて

- ・「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施
- ・エネルギービジネス推進事業【協調】

○新たな分野でのイノベーションの創出に向けた環境整備

- ・関西広域産業共創プラットフォーム事業の推進

○SDGsの達成に取り組む企業への支援

- ・関西プラスチックごみゼロ推進事業

○地域魅力の発信・マーケットの拡大支援

- ・ものづくりをはじめとする地域魅力の発信

○オール関西による企業の成長支援

- ・企業の成長支援機関の活用促進【協調】
- ・産学連携促進事業【協調】
- ・海外ビジネスサポートデスクの共同利用【協調】

○人材の確保・育成施策の推進

- ・人材確保・育成に関するセミナー開催

○広報活動やセミナー等による情報発信

- ・広報活動の実施
- ・ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」の発行等による情報発信
- ・各種セミナーの開催

○広域産業振興の取組にかかる評価・検証

- ・「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営

○「関西広域産業ビジョン」の改訂

- ・「関西広域産業ビジョン改訂委員会」の運営

※協調事業

構成府県市・関係団体の事業を活用し、連携して実施する事業

※関西広域連合域内・構成府県市

滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

関西スタートアップ・エコシステムの推進

◇関西スタートアップのポテンシャルの発信強化(13,043千円)

スタートアップは、革新的技術で経済活性化や社会課題の解決を通じて未来社会を創造する牽引役である。国内外から「人・モノ・投資・情報」が集まり、自律的かつ持続的にイノベーションが生み出され、スタートアップが誕生・成長する関西の実現に向けては、多様なプレイヤーの共創や大学、研究機関等、知との融合がスムーズに図られる“スタートアップ・エコシステム”の推進が不可欠となる。

京阪神が国のスタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市として選定されたことは、オール関西のエコシステムの構築に向けた大きなアドバンテージである。

大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアムと関西広域連合が連携し、域内の共通点や強みを活かし関西エコシステムのポテンシャルを世界に向けて発信することで、国内外のリソースを集め、スタートアップの成長環境を構築していく。

《目標》 域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録: 100社 (R4年度からの累計)
域内スタートアップ英語情報の登録: 50社 (R5年度)

<実施内容>

- ▶域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録
- ▶域内スタートアップ英語情報の登録 (Crunchbase等への登録)
- ▶国内カンファレンスやピッチイベント等での情報発信 <年に3回>
- ▶Crunchbase等の海外メディアへの情報発信 <年に2回(半期に一度)>
- ▶関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベントの開催 <年に1回>
- ▶関西スタートアップ・エコシステムポータルサイトの運営 等



(R4年度のトークセッションの様子)

ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出に向けて①

◇ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化(1,339千円)

海外に訴求力のある大規模展示会やビジネスマッチングイベント等への参加により、関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルを広く発信。国内外における関西の認知度・存在感の向上を図ることにより、域内への投資、企業立地の促進につなげ、域内関連産業の振興を図る。

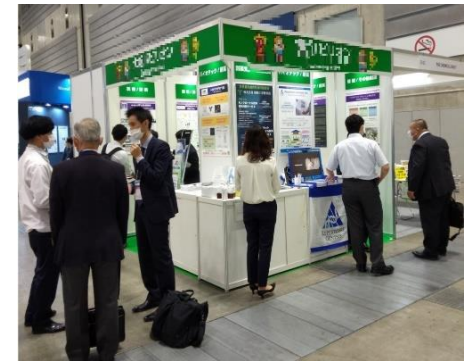
《目標》 BioJapanマッチング件数:参加企業数×6倍以上

BioJapan 2023

- ＜開催日＞ 令和5年10月11日(水)～13日(金)
- ＜開催場所＞ パシフィコ横浜(横浜市西区)
- ＜主催＞ BioJapan組織委員会
(株)JTBコミュニケーションデザイン

■BioJapanへの参加

海外展開や共同研究などに繋がるマッチング支援やセミナーを通じ、関西の強み・ポテンシャルを広く発信する。



(BioJapan会場イメージ)

◇欧州ライフサイエンス企業とのパートナーリングカンファレンスの実施【協調】

欧州のライフサイエンス企業と域内企業等とのパートナーリングカンファレンスを実施。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況次第でオンライン開催となる可能性あり

＜開催日＞ 令和5年10月10日(火) 参加予定企業数:50社程度

ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出に向けて②

◇医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施(2,224千円)

ものづくり企業の医療機器分野への参入を支援するため、医薬品医療機器等法などの取り扱いに加え、知財や基盤技術、生産・管理、販売戦略など、事業化に向けた様々なステージにおける相談事業を実施する。

《目標》相談件数:250件以上

- ＜内 容＞ 相談業務、事業の周知活動 等
- ＜開催場所＞ ターミナルなど交通至便な場所に加え
オンラインでの対応



(イメージ)

◇医薬品医療機器総合機構(PMDA)関西支部の活用促進【協調】

PMDA関西支部で実施している医薬品・医療機器・再生医療等製品の相談事業等について、周知・広報を行い、広域連合域内企業の活用促進を図る。

グリーン分野におけるイノベーション創出に向けて

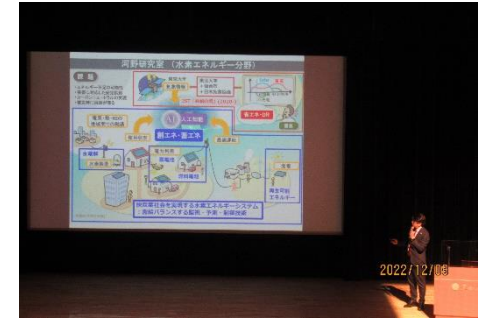
◇「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施(1,780千円)

関西が高い産業ポテンシャルを有するグリーン分野において、域内を中心とした大学・研究機関等の研究成果を域内の企業に広く発信し、シーズの事業化を促進する。

《目標》 参加者数:200人以上
マッチング件数:フォーラム発表数(7人を想定)の6.1倍以上

フォーラムの概要

- <開催日> 令和5年12月上旬
- <開催場所> 大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー
(大阪市北区)
- <テーマ> 水素・燃料電池、蓄電池等のカーボンニュートラルに資する技術
- <内容> ・特別講演
・研究成果発表
・ポスターセッション
・交流会



(R4年度のフォーラムの様子)

◇エネルギービジネス推進事業【協調】

大阪府が設置している専門人材を活用したエネルギービジネス関連の相談窓口について、周知広報を行い、広域連合域内企業の活用促進を図る。

◇関西広域産業共創プラットフォーム事業の推進(22,634千円)

関西広域連合域内の公設試による企業に対する技術支援サービスに事業化支援機能を付加させ、域内の多様な機関が連携し、シームレスに企業を支援する広域的プラットフォームをオール関西で構築し、イノベーションが生まれる環境の創出を図る。

《目標》 本プラットフォームの利用件数 100件以上
本プラットフォームを利用した企業の利用満足度 80%以上
「かんさいラボサーチ」アクセス件数:23,000件以上

<内容>

1 企業ニーズに応える事業化支援強化事業

- (1) 企業からの相談に対応し、企業の事業化レベルに応じて支援
(※「かんさいラボサーチ」のコンシェルジュ機能に加え、経営支援機関等と連携したトータルサポートを実施)
- (2) 公設試・産総研・大学等のシーズ(研究成果)を発掘するとともに、企業の事業化ニーズの探索を広く行い、双方をマッチング
産業技術支援フェア in KANSAI 2023
<開催日・場所> 調整中

2 広域的プロジェクト組成に向けた調査事業(※委託事業)

3 公設試・連携機関との連携促進のための活動・PR等

◇関西プラスチックごみゼロ推進事業（500千円）

海洋プラスチック問題などの地球規模の環境問題の解決に向けた COP21での「パリ協定」の採択、G20大阪サミットでの「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」など、国際的な長期目標が設定される中、関西広域連合においても「関西プラスチックごみゼロ宣言」を発出し、プラスチックごみゼロに向けた各種活動や普及啓発に取り組んでいる。

規制や啓発といった環境政策面の取組と並行し、プラスチックに代わる素材や製品の開発に向けた情報提供や研究開発支援、新たに創出された製品の販路拡大支援等、産業振興の側面からの取組を進めていく。

《目標》 開発製品等の展示商談会等の総来場者数：760人以上

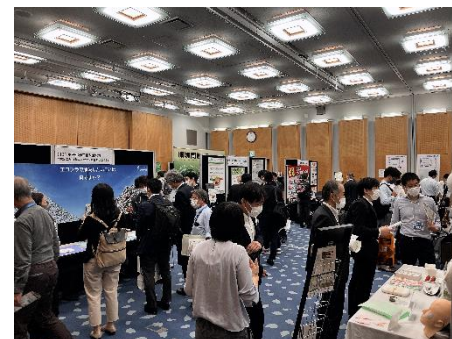
<内容>

- ・代替プラスチックの開発動向・技術シーズ等情報提供、研究開発支援
- ・開発製品等のプロモーション支援 等

[SDGs対応技術展2023](予定)

<開催日> 令和5年9月8日(金)

<開催場所> 大阪産業創造館(大阪市中心部)



(R4年度のSDGs対応
技術展の様子)

◇ものづくりをはじめとする地域魅力の発信(8,141千円)

デザインや実用性に優れた関西の工業製品などの産業資源をはじめとする関西の持つ魅力やポテンシャルを国内外に広く発信するプロモーション活動を展開する。

《目標》国内プロモーション:事業詳細決定後設定

海外プロモーション:事業詳細決定後設定

国内プロモーション

- ・首都圏でのプロモーションイベントの開催

＜開催時期＞ 令和5年12月中旬～令和6年1月中旬（予定）

＜開催場所＞ 東京都23区内(未定)

- ・京都市内の百貨店でのプロモーションイベントの開催

海外プロモーション

- ・米国における展示会等への出展

「CRAFT14」等の情報発信



(国内プロモーションイベントの様子)

◇企業の成長支援機関の活用促進【協調】

域内企業の成長を支援する機関(※)が行う取組について、周知・広報を行い、その活用促進を図る。

(※)

- ・ INPIT近畿統括本部 (INPIT-KANSAI)
- ・ 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 関西支部 (再掲)
- ・ 日本国際紛争解決センター
- ・ 航空産業非破壊検査トレーニングセンター
- ・ 製品評価技術基盤機構 (NITE) 大阪事業所
- ・ 京都国際調停センター 等

◇産学連携促進事業【協調】

事業主体: 大阪産業局

大学や高等専門学校と連携して実施するセミナー等の産学連携事業について、周知・広報を行い、広域連合域内企業等の活用を促進する。

◇海外ビジネスサポートデスクの共同利用【協調】

構成府県市が設置している海外の企業支援拠点(ビジネスサポートデスク)の一部について、共同利用を実施し、中小企業等の海外展開を支援する。

(設置地域) インド、タイ、ベトナム、ミャンマー、中国、台湾

人材の確保・育成施策の推進

◇人材確保・育成に関するセミナー開催(282千円)

域内企業の人材確保・育成の取組につなげることを目的とし、独自の社員教育や先進的な人材確保の取組を実施する企業の事例を紹介するセミナーを開催する。

《目標》 WEBセミナー(ライブ配信)視聴者数:200人以上
視聴者満足度:75%以上

広報活動やセミナー等による情報発信

◇広報活動の実施(1,991千円)

広域産業振興局や構成府県市の施策、関西の産業情報等について、ホームページの更新やメールマガジン・SNSの配信、および広報紙等の作成により、域内外に向け、最新情報の提供を行う。

◇ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」の発行等による情報発信(1,801千円)

域内企業にとって有益な情報を収集し、ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」として発行する。

人材確保等に関する記事・情報については人材確保・育成に関するセミナーでも取組事例として紹介する。

◇各種セミナーの開催(999千円)

企業のICT化の取組の推進や、ウィズコロナ・ポストコロナ時代の新たなビジネス戦略等をテーマにセミナーを開催する。

《目標》 広域産業振興局HPアクセス件数:30,000件以上
人材に関するWEBセミナー視聴者を対象とした「from NOW ON KANSAI」の満足度:75%以上
WEBセミナー視聴者数:1,000人以上

広域産業振興の取組に係る評価・検証

◇「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営(235千円)

ビジョンに掲げた戦略に基づく取組の評価・検証に対する助言を受けるとともに、ビジョンの推進に係る意見交換を行うため、「関西広域産業ビジョン」推進会議を運営する。

<「関西広域産業ビジョン」推進会議 委員>	
(学識経験者) 甲南大学 名誉教授 兵庫県立大学名誉教授、 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 特任教授 関西学院大学商学部 教授	稲田 義久 氏 加藤 恵正 氏 川端 基夫 氏
(経済団体) 徳島県商工会議所連合会 専務理事 鳥取県商工会議所連合会 幹事長 公益社団法人関西経済連合会 理事・産業部長 近畿府県商工会連合会連絡協議会 副会長 関西商工会議所連合会 事務局	小笠 恭彦 氏(徳島商工会議所 専務理事) 中山 孝一 氏(鳥取商工会議所 専務理事) 野島 学 氏 早川 巖 氏(大阪府商工会連合会 会長) 丸山 新二 氏(大阪商工会議所 理事・総務企画部長)
(官公庁) 近畿経済産業局 地域経済部 地域開発室長	大平 昌幸 氏

(50音順、令和4年4月1日現在)

「関西広域産業ビジョン」の改訂

◇「関西広域産業ビジョン改訂委員会」の運営(590千円)

ビジョン改訂に向けた検討を行うため、学識経験者等で構成する「関西広域産業ビジョン改訂委員会」を運営する。

<「関西広域産業ビジョン改訂委員会」委員>	
(学識経験者) 甲南大学 名誉教授 大阪学院大学商学部 准教授 大阪公立大学現代システム科学研究所 教授	稲田 義久 氏 葛西 恵里子 氏 水野 真彦 氏
(経済団体) 徳島県商工会議所連合会 専務理事 鳥取県商工会議所連合会 幹事長 公益社団法人関西経済連合会 理事・産業部長 近畿府県商工会連合会連絡協議会 副会長 関西商工会議所連合会 事務局	小笠 恭彦 氏(徳島商工会議所 専務理事) 中山 孝一 氏(鳥取商工会議所 専務理事) 野島 学 氏 早川 巖 氏(大阪府商工会連合会 会長) 丸山 新二 氏(大阪商工会議所 理事・総務企画部長)
(官公庁) 近畿経済産業局 地域経済部 地域開発室長	大平 昌幸 氏

(50音順、令和5年3月1日現在)

参考:「関西広域産業ビジョン」に掲げる戦略への位置づけ

戦略	事業
<p>【戦略1】 関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化</p>	<p>関西スタートアップのポテンシャルの発信強化 ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化 欧州ライフサイエンス企業とのパートナーングカンファレンスの実施【協調】 医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施 PMDA関西支部の活用促進【協調】 「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」の実施 エネルギービジネス推進事業【協調】 関西広域産業共創プラットフォーム事業の推進</p>
<p>【戦略2】 高付加価値化による中堅・中小企業等の成長支援</p>	<p>関西スタートアップのポテンシャルの発信強化(再掲) ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化(再掲) 関西広域産業共創プラットフォーム事業の推進(再掲) 関西プラスチックごみゼロ推進事業 ものづくりをはじめとする地域魅力の発信 企業の成長支援機関の活用促進【協調】 産学連携促進事業【協調】 海外ビジネスサポートデスクの共同利用【協調】 各種セミナーの開催</p>
<p>【戦略3】 個性豊かな地域の魅力を活かした地域経済の活性化</p>	<p>関西スタートアップのポテンシャルの発信強化(再掲) ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化(再掲) ものづくりをはじめとする地域魅力の発信(再掲)</p>
<p>関西を支える人材の確保・育成</p>	<p>人材確保・育成に関するセミナー開催 「from NOW ON KANSAI」の発行</p>